2027年３月期
第２四半期（中間期）
決算説明資料

真のグローバルサプライヤーとして
社会から必要とされる企業を目指して



2026年11月13日
株式会社JSP

Index

Section 01 2027年３月期（2026年度）通期業績予想ハイライト

Section 02 2027年３月期　第２四半期　決算概要（2026年度中間期実績）

Section 03 2027年３月期　見通し（2026年度通期見通し）

Section 04 トピックス

Section 05 2027年３月期　第２四半期　決算補足

Index

Section 01 2027年３月期（2026年度）通期業績予想ハイライト

Section 02 2027年３月期 第２四半期 決算概要（2026年度中間期実績）

Section 03 2027年３月期 見通し（2026年度通期見通し）

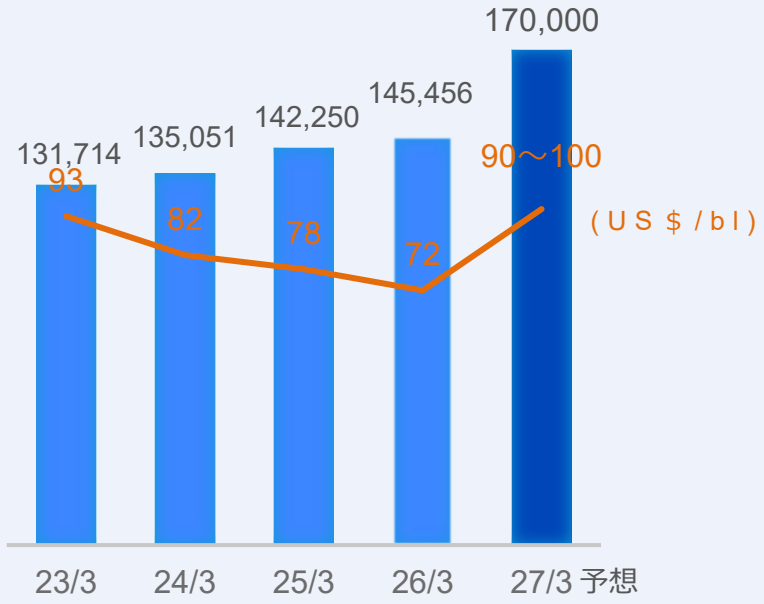
Section 04 トピックス

Section 05 2027年３月期 第２四半期 決算補足

2027年３月期（2026年度）通期業績予想ハイライト①

売上高

（百万円）



販売は前年を上回る見込み、また販売価格改定などにより売上高の増加を見込む

赤字はドバイ原油価格

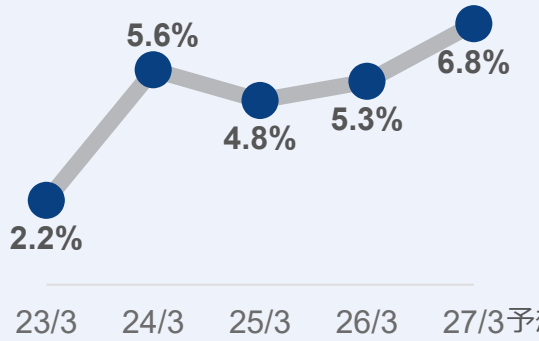
営業利益

（百万円）



中東情勢による原材料価格の上昇などに伴う価格転嫁の影響が大きく、欧米での販売が好調に推移したことにより増加を見込む

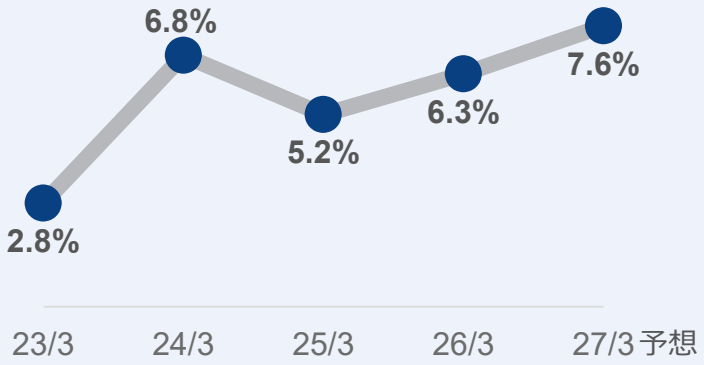
営業利益率



営業利益率の高い欧米の販売増加を見込む

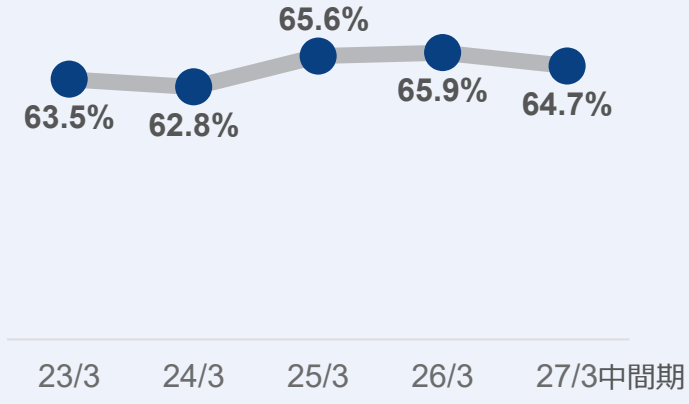
2027年3月期（2026年度）通期業績予想ハイライト②

自己資本利益率（ROE）



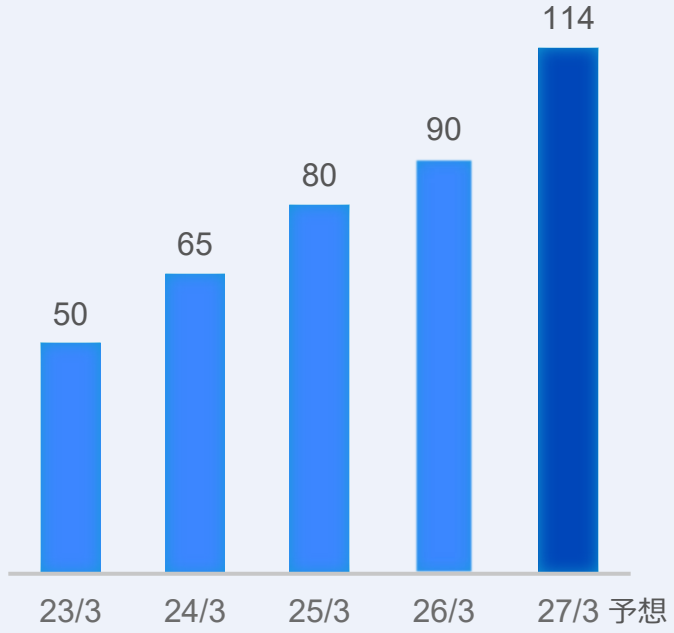
営業利益の増加により、ROEは7.6%を見込む

自己資本比率



適正な資本構成に向けた財務運営を引き続き検討

配当金（円/株）



期首想定の年間100円／株から、114円／株へ配当増を予想

Index

Section 01 2027年３月期（2026年度）通期業績予想ハイライト

Section 02 2027年３月期 第２四半期 決算概要（2026年度中間期実績）

Section 03 2027年３月期 見通し（2026年度通期見通し）

Section 04 トピックス

Section 05 2027年３月期 第２四半期 決算補足

決算概況

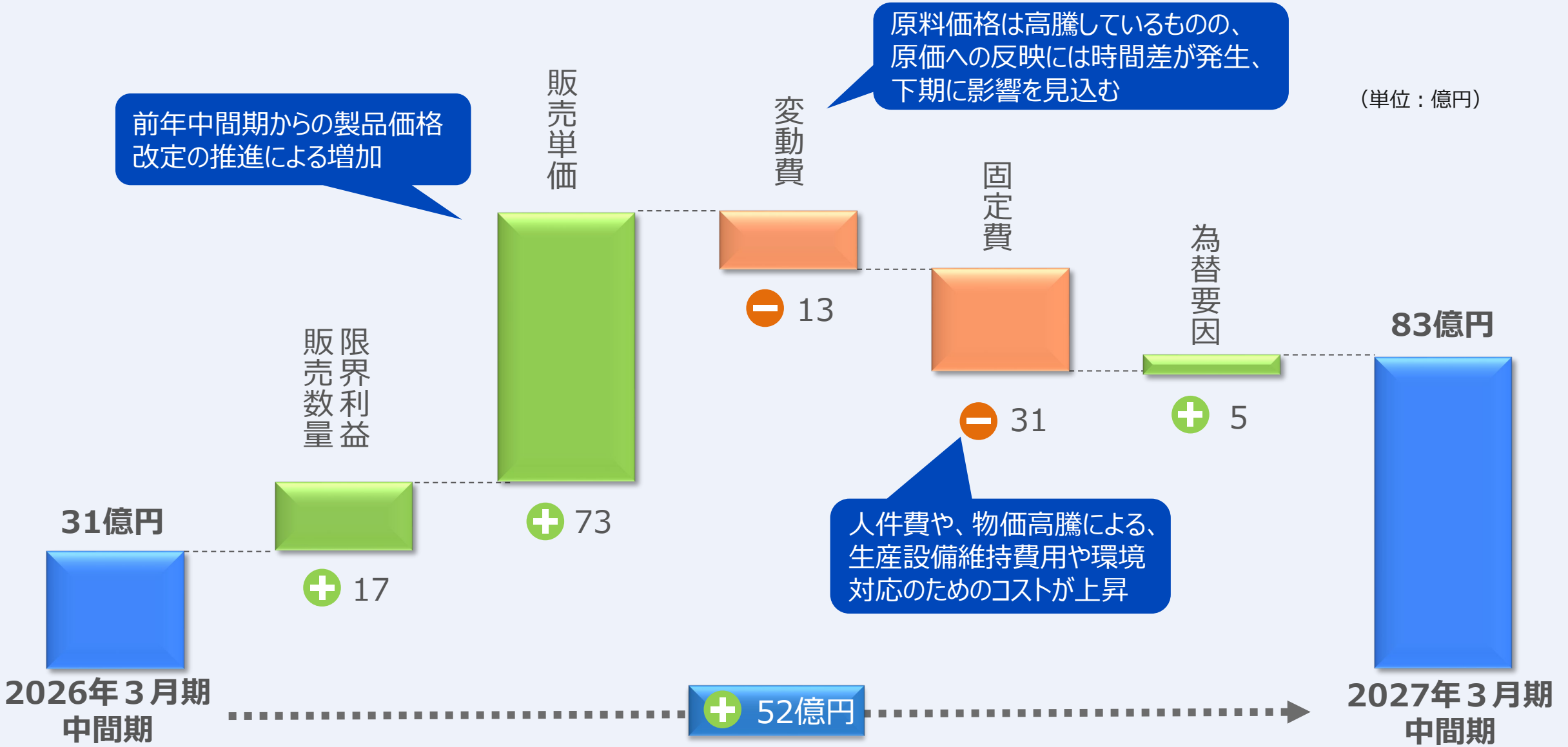
（単位：百万円）

	2026年３月期 中間期実績	2027年３月期 中間期公表(7/31)	2027年３月期 中間期実績	前年同期比	公表比
売上高	70,307	86,000	86,054	＋ 22.4%	＋ 0.1%
営業利益	3,076	7,000	8,262	＋ 168.6%	＋ 18.0%
経常利益	3,240	7,100	8,305	＋ 156.3%	＋ 17.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,860	5,500	6,439	＋ 125.1%	＋ 17.1%
１株当たりの配当金	40円（中間）	50円（中間）	57円（中間）	＋ 17円	＋ 7円

	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期
ドバイ原油（USD/BL）	69	93
円/USD	147.4	158.6
円/EUR	162.2	184.8

- 世界経済：中東情勢を巡る地政学的リスクに伴う原油や石油化学製品の価格・供給動向に加え、金融資本市場の変動などにより、先行き不透明な状況。
- 日本経済：物価上昇が続き、為替や金利などに変化がみられる中、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調となりました。
- 国内業界：調達・供給面での制約から、一時的な需要の増加はありましたが、原材料価格の上昇に加え、水産分野などでの需要の減少傾向により、先行きへの不透明感が続きました。
- 売上高：国内では原材料価格の変動等に対応した製品価格の改定があったほか、海外では販売が増加し、売上高は前年同期比22.4%の増加。
- 営業利益：国内及び海外における売上高の増加などにより前年同期比168.6%増加。

営業利益の増減要因（中間期比較）



押出事業（2027年３月期中間期 実績）

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間期実績	2027年３月期 中間期実績	前年同期比
売上高	24,411	27,954	＋ 14.5%
営業利益	869	2,540	＋ 192.0%

- 原材料の供給動向を受けた一時的な需要がみられましたが、販売は前年同期並みとなり、原材料価格の変動等に対応した製品価格の改定により、売上が増加し、利益も増加しました。

食品包材・容器



「スチレンペーパー」



「ミラボード®」

- 食品トレー向け分野に加え、広告宣伝用ディスプレイ材「ミラボード® 」の販売も減少しましたが、製品価格の改定などにより、売上は増加しました。

産業用包装材



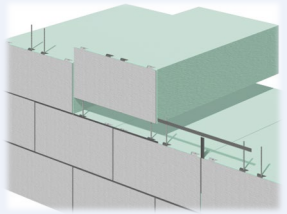
「ミラマット®」
「キャプロン®」
「Ｐボード」

- 付加価値の高い製品の販売は減少しましたが、汎用製品及び一般包材の販売が増加したことから売上は増加しました。

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム®」



「J-ウォールブロック」

- 建築・住宅分野向けや土木分野向けの販売が増加したことから売上は増加しました。

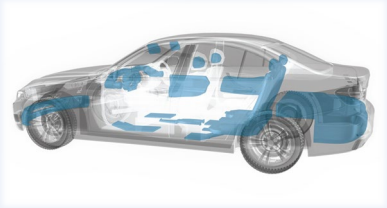
ビーズ事業（2027年３月期中間期 実績）

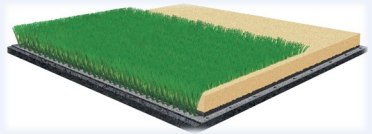
（単位：百万円）

	2026年３月期 中間期実績	2027年３月期 中間期実績	前年同期比
売上高	45,896	58,100	＋ 26.6%
営業利益	2,656	6,251	＋ 135.4%

- 北米、欧州及び中国の販売が増加し、売上は増加しました。
- 利益面では、販売が増加したことにより増益となりました。
- 「ARPRO®」は、自動車分野及び非自動車分野ともに販売が増加したことから売上は増加しました。

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材





「ARPRO®」
「エレンポール® NEO」
「COREDUAL®」

- 北米は、自動車分野及び非自動車分野ともに好調に推移。
- 欧州は、HVAC向けは増加し、自動車分野も好調に推移。
- 中国は、バッテリー関連の包装材分野は増加、台湾では、AIサーバー関連の包装材分野は減少。

発泡性ポリスチレン





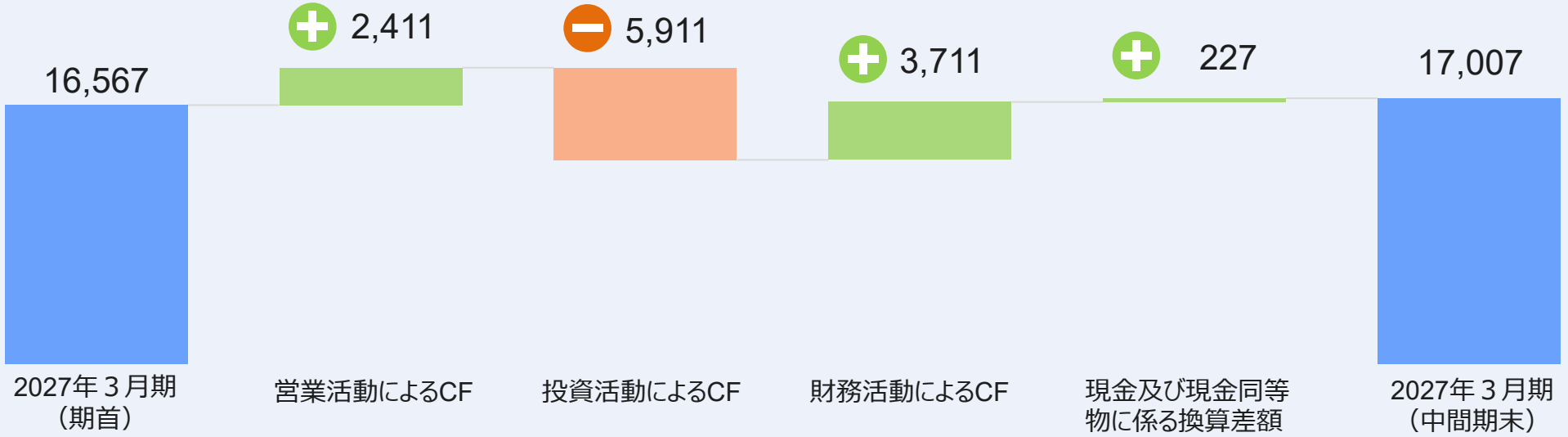
「スチロダイア®」
「ヒートポール® GR」
「クリアポール®」

- 水産分野などでの販売は減少しましたが、原材料価格の変動等に対応した製品価格の改定により、売上は増加。

キャッシュフロー・設備投資額・減価償却費・研究開発費

【キャッシュフロー】

（単位：百万円）



【設備投資額・減価償却費・研究開発費】

	2026年３月期　中間期	2027年３月期　中間期
設備投資額	5,532	5,192
減価償却費	3,944	4,462
研究開発費	1,211	1,276

※　設備投資額はキャッシュベースです。

Index

Section 01 2027年３月期（2026年度）通期業績予想ハイライト

Section 02 2027年３月期 第２四半期 決算概要（2026年度中間期実績）

Section 03 2027年３月期 見通し（2026年度通期見通し）

Section 04 トピックス

Section 05 2027年３月期 第２四半期 決算補足

2027年３月期　見通し

（単位：百万円）

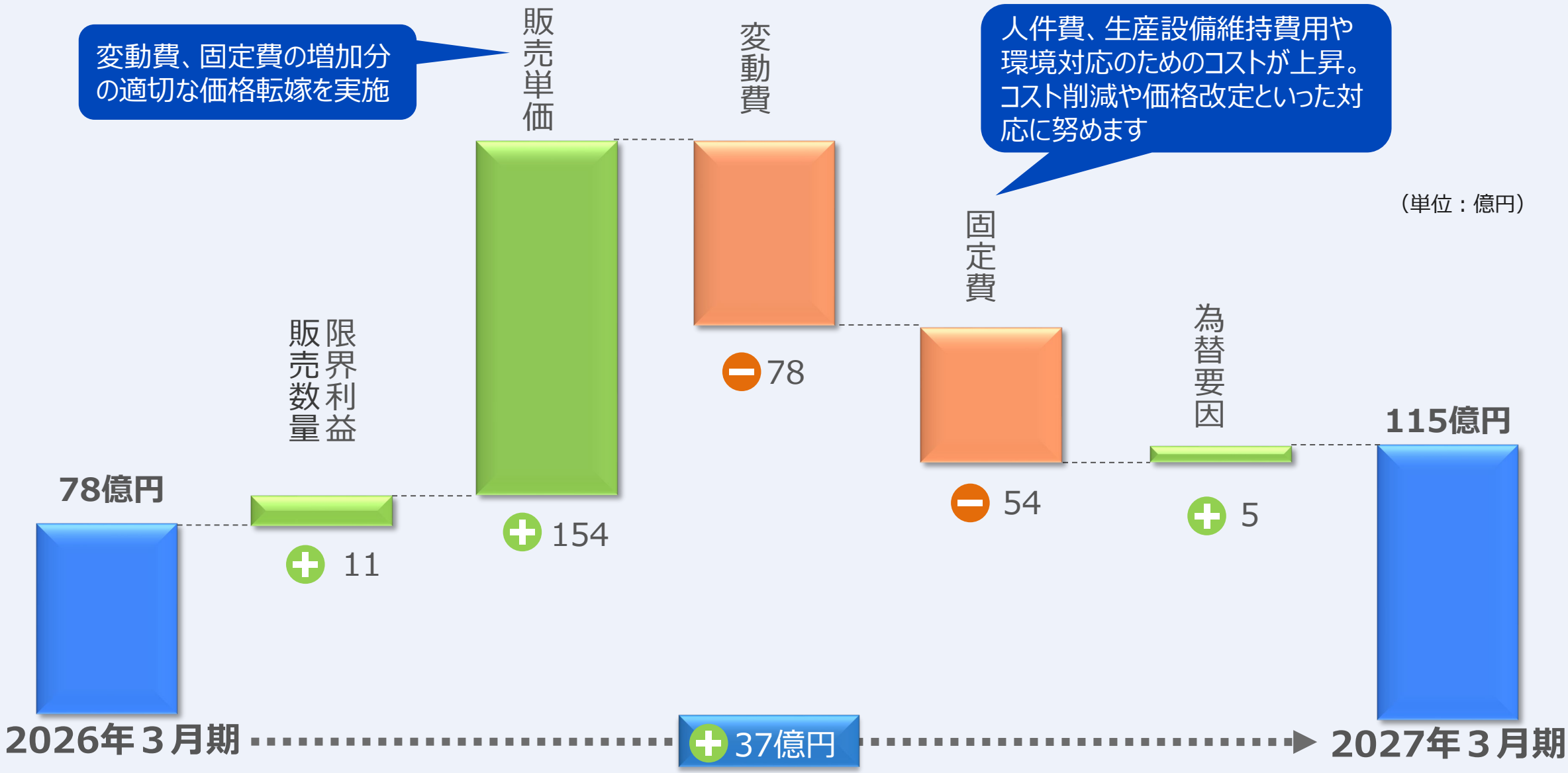
	2026年３月期 実績	2027年３月期 予想	前年同期比
売上高	145,456	170,000	＋ 16.9%
営業利益	7,765	11,500	＋ 48.1%
経常利益	8,092	11,700	＋ 44.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,602	8,500	＋ 28.7%
自己資本利益率（ROE）	6.3%	7.6%	＋ 1.3pt.
１株当たりの配当金（予想）	90円（年間）	114円（年間）	＋ 24円

	2026年３月期 実績	2027年３月期 見通し
ドバイ原油（USD/BL）	72	90～100
為替レート（円/USD）	150	160
為替レート（円/EUR）	170	185

今後の見通し

ホルムズ海峡の通航が再開し、2027年３月までに概ね紛争前の状況へ回復することを前提に、調達・輸送費の上昇で原材料価格は高水準が続く可能性があります。
国内では原材料価格の高止まりや物価上昇による需要への影響を見込んでおり、需要は減少すると想定しております。
海外では、北米の自動車、非自動車分野での販売増加や、欧州の市場シェア拡大により、販売は好調に推移する見込みです。
第３四半期以降は需要が落ち着くものの、付加価値の高い製品の販売と価格改定により、売上高・利益ともに前回予想を上回る見込みとしております。

営業利益の増減要因


変動費、固定費の増加分の適切な価格転嫁を実施
人件費、生産設備維持費用や環境対応のためのコストが上昇。コスト削減や価格改定といった対応に努めます
（単位：億円）
78億円
販売数量限界利益
＋11
販売単価
＋154
変動費
－78
固定費
－54
為替要因
＋5
115億円
2026年３月期
＋37億円
2027年３月期

押出事業

（単位：百万円）

	2026年３月期 実績	2027年３月期 予想	前年同期比
売上高	49,550	54,000	＋ 9.0%
営業利益	2,058	3,100	＋ 50.6%

- 販売は、各分野での物価高騰による消費減少や、駆け込み需要の反動により、通期では前年並みの見込み、付加価値の高い製品が好調に推移することにより売上は増加する見込み。
- 営業利益は、原料価格や固定費増加の影響も、柔軟な価格転嫁による増加見込み。

食品包材・容器



「スチレンペーパー」



「ミラボード®」

- 食品トレー向けの販売は、国内物価高騰などによる、消費動向の変化により減少を見込む。

産業用包装材



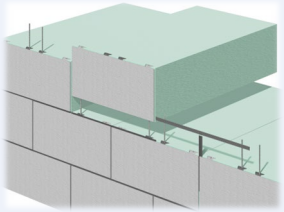
「ミラマット®」
「キャプロン®」
「Ｐボード」

- FPD向け「ミラマットエース®」は、販売先の在庫調整や生産プロセスの調整により販売は減少も、一般包材が堅調に推移し増益を見込む。

住宅用断熱材・土木資材



「ミラフォーム®」



「J-ウォールブロック」

- 駆け込み需要の反動により減少、付加価値の高い製品である「ミラフォーム®ラムダ」やプレカット品比率の増加により利益は増加を見込む。

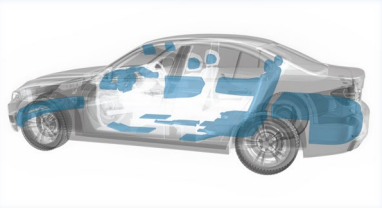
ビーズ事業

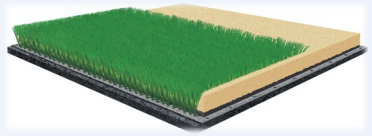
（単位：百万円）

	2026年３月期 実績	2027年３月期 予想	前年同期比
売上高	95,905	116,000	＋ 21.0%
営業利益	6,633	9,400	＋ 41.7%

- 売上高は、主に「ARPRO® 」を中心とした販売増加により増加。
- 利益面は、「ARPRO® 」は欧米の販売増加により増益、発泡性ポリスチレンは固定費等の削減が進んだことにより増益。

自動車部品・家電緩衝材・グラウンド基礎材





「ARPRO®」
「エレンポール® NEO」
「COREDUAL®」

- 発泡ポリプロピレン「ARPRO® 」は、北米は非自動車向けの販売が好調に推移し、欧州は市場シェアの獲得による販売が増加し、両地域ともに増収増益を見込む。
- アジア地域では、販売は前年度並みを見込んでいますが、原材料価格の高騰により減益を見込む。

発泡性ポリスチレン





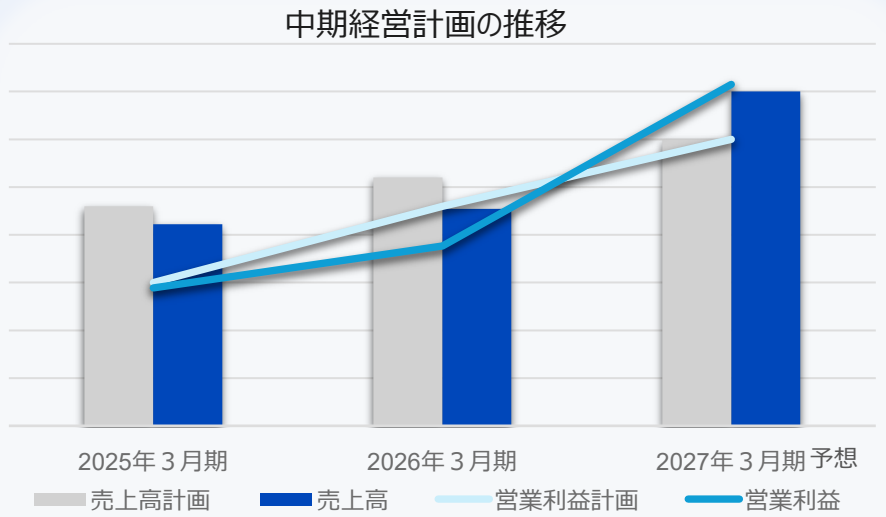
「スチロダイア®」
「ヒートポール® GR」
「クリアポール®」

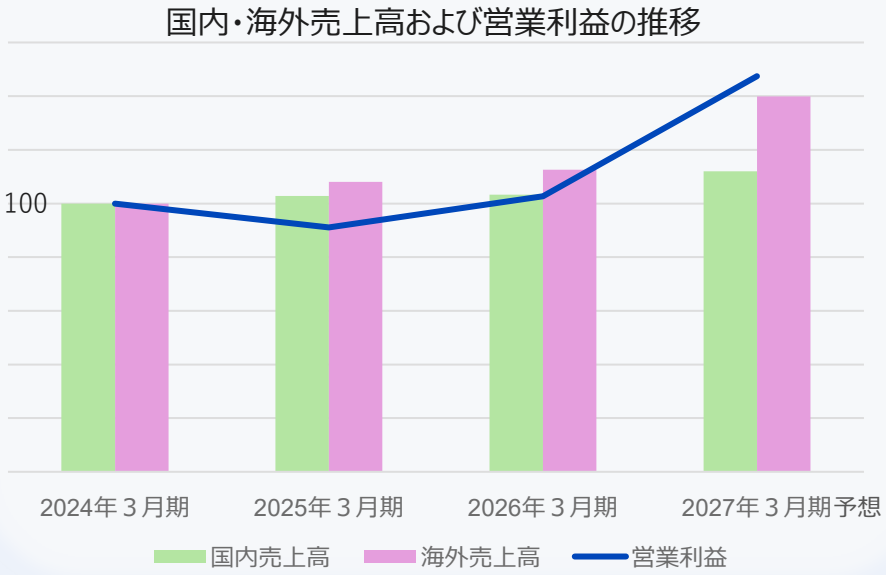
- 固定費の削減により事業体制の最適化を進めたことで収益性が高まる。原材料価格に対する価格転嫁も進み、利益は前年度を上回る見込み。

中期経営計画の目標進捗状況

（単位：百万円）

	2024年３月期 実績	中期経営計画	2027年３月期 予想	計画比
売上高	135,051	160,000	170,000	＋ 6.3%
営業利益	7,563	10,000	11,500	＋ 11.5%
営業利益率	5.6%	6.3%	6.8%	＋ 0.5pt.
経常利益	8,127	10,400	11,700	＋ 12.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,391	7,300	8,500	＋ 16.4%
自己資本利益率（ROE）	6.8%	7.0%以上	7.6%	＋ 0.6pt.
ドバイ原油（USD/BL）	82	90	90～100	0～+10
為替レート（円/USD）	141	140	160	+20

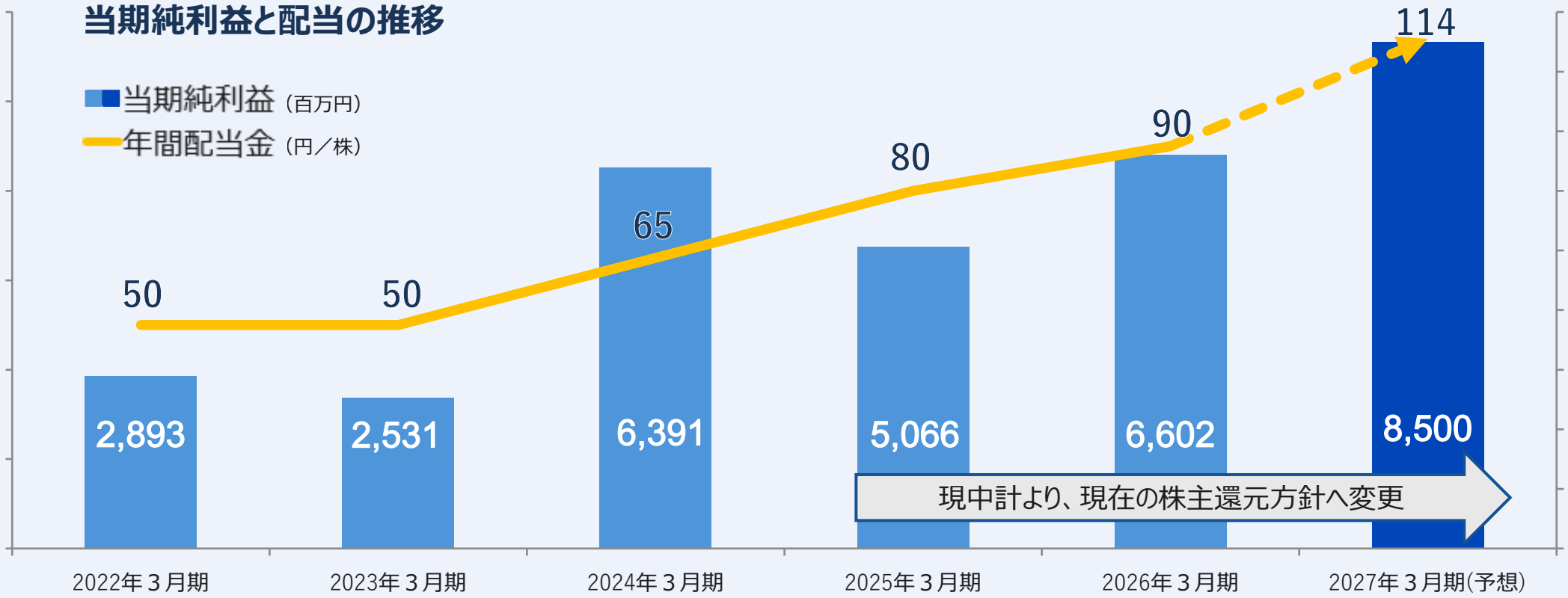




2027年３月期　見通し（2026年度通期見通し）

株主還元

2027年３月期の中間及び期末１株当たり配当予想を前回の１株当たり50円より７円引き上げ、57円に修正いたします。これにより年間の配当予想は114円となり、４期連続の増配を予定しております。



株主還元方針：当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置づけております。利益の配分につきましては、安定的な配当の継続を重視するとともに、資本効率の向上と株主還元の充実を図ることを基本方針とします。具体的には、連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保と株主還元のバランスに留意しつつ、連結当期純利益35%以上の配当性向を目安として、総合的に決定する方針としております。

Index

Section 01 2027年３月期（2026年度）通期業績予想ハイライト

Section 02 2027年３月期 第２四半期 決算概要（2026年度中間期実績）

Section 03 2027年３月期 見通し（2026年度通期見通し）

Section 04 トピックス

Section 05 2027年３月期 第２四半期 決算補足

直近の開示について　2026年11月９日

特定子会社の設立に関するお知らせ

●福建省泉州市に、発泡ポリプロピレンビーズの製造販売会社を設立いたします。

●目的：中国事業のさらなる拡大と事業基盤の強化
中国事業第４の生産拠点としてバッテリー包材用途の需要に対応

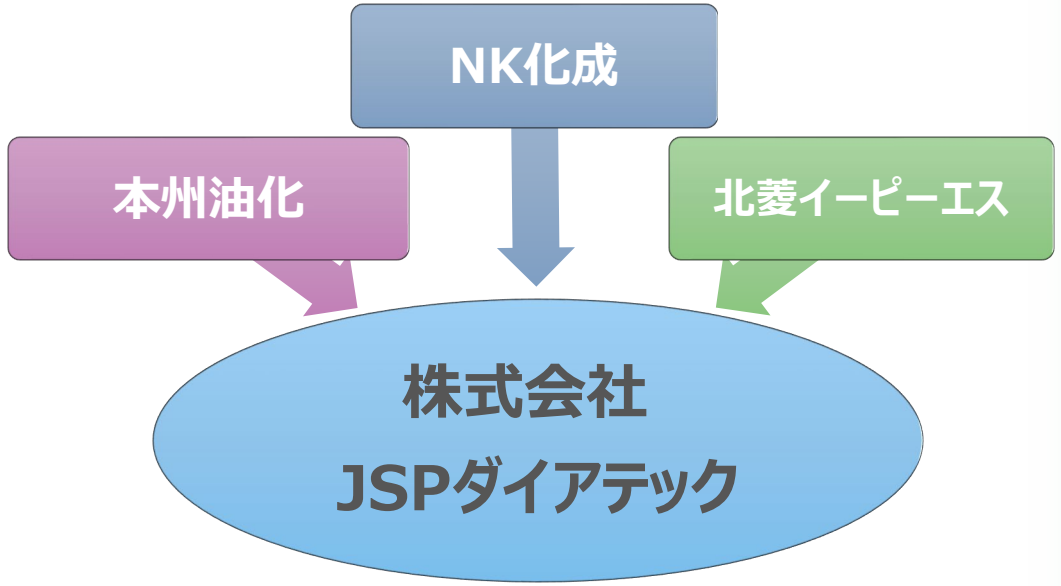
●時期：2026年12月に設立・事業開始予定（JSP100%出資）

●商号：杰斯比高新材料（泉州）有限公司

(英語名) JSP Advanced Materials (Quanzhou) Co., Ltd.



完全子会社間の吸収合併に関するお知らせ



●本州油化株式会社を存続会社として、NK化成株式会社・北菱イーピーエス株式会社を吸収合併いたします。

●目的：経営資源の集約、管理機能の効率化、意思決定の迅速化により、グループの事業運営体制の最適化

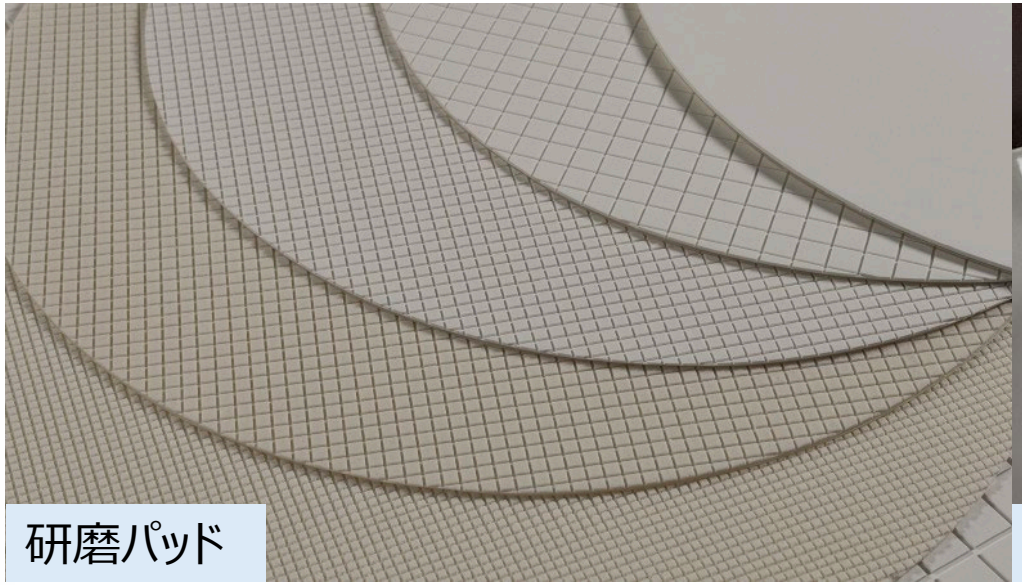
●時期：2027年７月１日に合併を予定

●商号：「株式会社JSPダイアテック」に変更

新事業創出　研磨パッド

半導体研磨素材の開発

シリコンに代表される半導体製造に不可欠なウエハには、原子レベルの平坦性が求められます。その精密な平坦性を実現する研磨工程において、研磨パッドは重要な役割を担っています。当社は、長年培ってきた発泡体製造技術を応用し、半導体製造に欠かせないウエハをより速く、より平坦に仕上げる研磨パッドの実現を目指し、半導体市場への展開に向けた研究・開発を進めています。



研磨パッド



研磨風景(四日市工場内研究所)



展示ブース（イメージ）

2026年度展示会出展計画

管轄部署　　：新事業開発本部　事業推進部　市場開発グループ
出展商材　　：OROUS研磨パッド（仮名）
展示会日時　：2026年12月９日～11日　**SEMICON JAPAN　E7933（東７）**
　　：2027年３月10日～12日　**先進パワー半導体加工技術展2027**

※OROUS（オーラス）はJSPの登録商標です。

Index

Section 01 2027年３月期（2026年度）通期業績予想ハイライト

Section 02 2027年３月期 第２四半期 決算概要（2026年度中間期実績）

Section 03 2027年３月期 見通し（2026年度通期見通し）

Section 04 トピックス

Section 05 2027年３月期 第２四半期 決算補足

経営成績

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期
売上高	70,307	86,054
営業利益	3,076	8,262
経常利益	3,240	8,305
親会社株主に帰属する中間純利益	2,860	6,439
包括利益	475	8,709

	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期
１株当たり中間純利益	109円15銭	245円72銭
売上高営業利益率	4.4%	9.6%

【主要な日本円への換算レート（１～６月）】

	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期
円/USD	147.4	158.6
円/EUR	162.2	184.8
円/RMB	20.3	23.1

営業外損益・特別損益

（単位：百万円）

営業外損益	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期
受取利息	228	190
為替差益	3	-
持分法による投資利益	-	0
その他	170	152
営業外収益合計	402	344
支払利息	170	236
為替差損	-	29
持分法による投資損失	37	-
その他	30	33
営業外費用合計	238	300

特別損益	2026年３月期 中間期	2027年３月期 中間期
固定資産売却益	25	19
受取保険金	97	44
退職給付制度改定益	394	-
特別利益合計	518	63
固定資産売却損	7	11
固定資産除却損	53	25
投資有価証券評価損	1	-
特別損失合計	61	36

財務体質

（単位：百万円）

	2026年３月末	2026年９月末	増減額
総資産	164,848	179,480	+14,632
純資産	113,514	120,850	+7,336
ネット有利子負債	7,748	11,883	+4,135
自己資本	108,630	116,058	+7,428
ネットD/Eレシオ	0.07	0.10	+0.03ポイント
自己資本比率	65.9%	64.7%	△1.2ポイント
１株当たり純資産	4,145円07銭	4,428円53銭	283円46銭

【主要な日本円への換算レート】

	2025年12月末	2026年６月末
円/USD	156.5	162.4
円/EUR	184.2	185.4
円/RMB	22.4	23.9

貸借対照表

（単位：百万円）

		2026年３月末	2026年９月末	増減額
資産の部	流動資産	81,938	94,974	+13,035
	固定資産	82,909	84,506	+1,596
資産合計		164,848	179,480	+14,632
負債の部	流動負債	36,901	42,732	+5,830
	固定負債	14,432	15,897	+1,465
	負債合計	51,334	58,630	+7,296
純資産の部	株主資本	93,146	98,303	+5,156
	その他包括利益累計額	15,483	17,755	+2,272
	非支配株主持分	4,884	4,791	△92
	純資産合計	113,514	120,850	+7,336
負債純資産合計		164,848	179,480	+14,632

純資産

（単位：百万円）

		2026年３月末	2026年９月末	増減額
株主資本	資本金	10,128	10,128	-
	資本剰余金	13,390	13,418	+27
	利益剰余金	69,627	74,756	+5,129
	自己株式	△0	△0	△0
	合計	93,146	98,303	+5,156
その他の包括利益累計額	その他有価証券評価差額金	499	469	△30
	為替換算調整勘定	14,077	16,447	+2,370
	退職給付に係る調整累計額	905	838	△67
	合計	15,483	17,755	+2,272
非支配株主持分		4,884	4,791	△92
純資産合計		113,514	120,850	+7,336

＜予想に関する注意事項＞
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Deliver with WOW!

私たちは、真のグローバルサプライヤーとして、顧客と消費者に感動を、
株主と地域社会に満足をお届けし、社員一人ひとりがワクワク感を持って仕事をすることで
社会から必要とされる企業を目指してまいります。

JSP